

令和5年度 北区立うめのき幼稚園 園関係者評価報告書

令和6年2月22日

園関係者評価委員会 委員長 須藤 あづさ

1 園関係者評価委員会の構成 [計 15名] 敬称略

- 西が丘自治会 会長 浦野 秀樹 ○西が丘三つ和自治会 会長 橋本 博文 ○地域協力者 講師 笠井 忠
- 梅木小学校 校長 大木 秀政 ○梅木小学校PTA会長 鍋島 豊 ○西が丘保育園 園長 古池 雪恵
- 西が丘児童館館長 矢部 美佐子 ○平成25年度PTA会長 兼松 リカ ○平成29年度PTA会長 大月 郁子
- 平成30年度PTA会長 松澤 久美子 ○令和元年度PTA会長 細川 麻依子 ○令和2年度PTA会長 池口 満代
- 令和3年度PTA会長 小田島 陽子 ○令和4年度PTA会長 細根 奈央 ○令和5年度PTA会長 須藤 あづさ

2 園関係者評価委員会の主な活動

- 地域協力者の会 年間2回
 - 第1回地域協力者の会 5月22日(月) 幼稚園経営計画報告、本年度教育活動報告、意見交換
 - 第2回地域協力者の会 1月22日(月) 幼稚園経営報告、幼稚園評価結果報告、園関係者評価 意見交換
- 小学校との合同運動会・音楽会、親子運動会 等の行事の参観

3 学校関係者評価の結果と分析

回収率 11名 73%

<結果> (評価指標 A…十分そう思う B…思う C…あまり思わない D…全く思わない E…分からない)

No.	評価項目	評 定				
		A	B	C	D	E
幼稚園経営について		A	B	C	D	E
1	子どもが生き生きできる幼稚園だと思われませんか。	11	0	0	0	0
2	子どもが安全に楽しく、落ち着いて生活できる幼稚園だと思われませんか。	9	2	0	0	0
3	保護者・地域の皆さんに開かれた幼稚園だと思われませんか。	9	2	0	0	0
4	職員が協力して運営している幼稚園だと思われませんか。	10	1	0	0	0
特色を生かした保育活動について		A	B	C	D	E
5	自然環境を生かした遊びや活動は、園児の発育に寄与していると思われませんか。	9	2	0	0	0
6	野菜や花の栽培、季節の果実を食べることは、幼児によい体験となっていると思われませんか。	10	1	0	0	0
7	小学校や近隣保育園等との交流活動は、園児の心を育てる活動となっていると思われませんか。	9	2	0	0	0
家庭・地域との連携について		A	B	C	D	E
8	園だより、学級だより、ホームページなどの広報活動を通して、教育方針や教育内容が、皆様に伝わっていると思われませんか。	7	4	0	0	0
9	行事や公開日、地域協力者の会を通して、教育内容や保育の様子が、皆様に伝わっていると思われませんか。	7	4	0	0	0
10	保護者の保育参加やお手伝い先生(絵本読み聞かせ・焼き芋手伝い・預かり保育手伝い)は、幼稚園の教育内容を理解する上で有効と思われませんか。	7	4	0	0	0
11	子育ての情報提供や子育て支援を、保護者にしていると思われませんか。	6	5	0	0	0
12	園の教職員は、保護者からの信頼に応えようとしていると思われませんか。	10	1	0	0	0
環境・安全面について		A	B	C	D	E
13	園庭や固定遊具などは、安全に整備されていると思われませんか。	6	5	0	0	0
14	保育室やホールなど、園舎内は、安全に整備されていると思われませんか。	7	4	0	0	0
15	危機管理(災害対策や不審者侵入防止等)への配慮がなされていると思われませんか。	3	7	1	0	0
開かれた幼稚園について		A	B	C	D	E
16	PTA活動は、充実していると思われませんか。	10	1	0	0	0
17	未就園児の幼稚園開放や、未就園児の遊びの会(プレスクールぐりぐら)の実施は、うめのき幼稚園の理解に役立っていると思われませんか。	8	3	0	0	0
18	地域の施設利用(赤羽自然観察公園や図書館)や交流(西が丘園交流等)は、園児にとってよい経験となっていると思われませんか。	9	2	0	0	0

<分析> ・全ての項目において、90%以上の肯定的評価(A・B)となり、幼稚園の教育活動について理解された。
 ・項目1「園生活」4「教職員」6「自然体験」12「保護者」は、80%以上のA評価となり、本園の自然環境を生かした教育や、「みんなで創る幼稚園」という園経営目標の理解が得られた。

- ・項目 15「危機管理」は、B 評価多数・C 評価もあり、門の解錠や広い範囲での安全管理について、更なる改善と周知が必要である。

4 改善の方策についての意見

【教育内容・幼児の成長・環境】

- ・子どもたちが生き生きと遊ぶ環境を大切にしていると感じる。コロナ前の行事についても、再現できると良い。
- ・園長はじめ、職員の皆さんが、明るく楽しく生き生きとしており、何よりそれが一番の園運営の良さだと思う。また、保護者、地域を巻き込んだ活動にも力を入れていると思う。
- ・秋の親子運動会の時など、教職員の皆様がとても協力されていた。
- ・保育の中で、園児の「振り返りの時間」をもち、園児の思いを大切にしていることが良い。
- ・日頃の保育の中で身近な自然物を取り入れて遊んでいる。栽培物の世話、収穫、食育経験も貴重である。
- ・職場環境では、保存年限を確認して書類の整理をする等、改善すると、働き方改革につながる。
- ・こども園開設に向けての工事は、園側の要望も伝え、教育委員会等と連携をとって進めていくと良い。

【地域への発信・連携】

- ・梅木小学校と隣接している良さを活かしている。梅木小学校との5年生との交流は比較的長い期間続いてきた。うめのき幼稚園の子どもが修了後に五年生になったとき、自分もお兄さんやお姉さんと関わった事を思い出して欲しい。園児や小学生が家庭にこの話題を持ち帰ることで、保護者の方も教育に関してや地域のことを考えるきっかけとなる。園児は、小学生への憧れ、小学生には年下の子どもへの慈しみの想いや優しさを育てるきっかけになると思いい、大切にしてほしい時間である。交流後、顔見知りになってつながり、良い関係性である。
- ・未就園児の会、園庭開放は、地域の子育て家庭にも幼稚園を知ってもらう機会や子どもの成長の道筋を想像したり、子育て相談したりする機会にもなり、良い取り組みである。園児も、小さな子と触れ合う機会が増えて良い。
- ・今年度から積極的に未就園児と親子が曜日に関係なく来園できるようになったことは素晴らしい取り組みと思う。まるで公園のようにいつでも開いている感覚が良いが、まだ利用する親子は少ない様子である。いつもの園の様子を未就園児の保護者の方に見て頂けるのは安心の提供という意味でも良い。保育園児も参加できよい交流ができた。
- ・児童館の行事の防災公園やマップづくり、未就園児への幼稚園説明等、保護者が参加して地域とのつながりがある。
- ・西が丘園との交流は、高齢者の方は、子どもたちからパワーをもらうので、可能な限り続けて頂きたい。核家族化で高齢の方々について知らない子どもが多いので、車椅子や杖など、色々な疑問が湧き出るとよい。
- ・運動会の際、赤羽北桜高校の学生たちがボランティアで手伝いに来てくれていて、とても素敵だと思った。親子と一緒に楽しめる運動会、園児の兄弟や未就園児も、みんなで楽しく参加、応援出来る雰囲気があたたかであった。良かった。
- ・今後も、地域に開かれた園であるよう応援している。梅木わくわく子ども広場とも連携し、遊び場提供できてよい。
- ・子どもが色々な人と接することは、色々な人たちを知る、世界を知ること、大切なことだと思う。
- ・参観の時には近隣の工務店のご協力で、園児や保護者もDIYを楽しんだ。近隣の方のお力をお借りして実現できることは、園と近隣の皆様の関係性が良いことを表している。
- ・園職員は、毎日園庭や教室など園児がすぐに遊べるよう整え、用務さんは安全に遊べるよういつも土手付近の大きな葉を取り除くなど整えている。子供たちが製作にすぐに取り掛かれるよう折り紙が色ごとに分けられ、且つホルダーの中に整然としまわれ、紙テープが何色も用意されている。園児が使いやすいよう工夫が詰まっている教室内である。先生方が環境をしっかり整えている結果と思う。整理整頓、活用を工夫すると良い。

【保護者との連携】

- ・今年の親子ネイチャーは、未就園児にとってもとても嬉しいことだったと思う。長年続いていて良い。
- ・保護者評価集計から、保護者のうめのき幼稚園愛を強く感じ、今後もみんなに愛される幼稚園であってほしい。
- ・園日よりでは、毎月園長が園活動を通して子どもたちの成長を書いている。紙の配布物だけで終わりではなく、まなびポケット配信で、携帯電話などでの端末でまた振り返りとしておたよりを見られることが良い。保護者の中でも、価値観や個々に抱えるものが違って、全てにおいて皆に伝わるといいと思うが難しいとも感じる。
- ・園長との対話の時間（こそだて&おやそだてトーク）とかやりたいが、まだ実現していない。⇒今後計画検討予定
- ・幼稚園に臨床心理士の資格を持った方がいらっしゃるのは区立幼稚園ならではの、スクールカウンセラーを役立てて頂きたいとも感じる。
- ・PTA 活動は、今年度スローガン「できる人ができる時にできることを」で、保護者の中には、活動ができないと申し訳ないと思う方もいるが、それでも良い。何年後かでも何かできる事をなさればいいし、しなくても良い。個人の自由な意思、強制ではないPTA 活動として、強制されるような感覚に陥らせないことが大切である。

【安全対策】

- ・園庭のことなど、危険だと感じた時には適切に対応している。
- ・園門が登降園時にずっと開きっぱなしでは無くなりホッとしている。ただ、世間一般的には登園降園の門が空いている時間がトラブルや事件がある事も言われているので、保護者も何かできることがあるのかなと思う。
- ・学校の裏門が開放されている時もあり、誰もが自由に入れてしまう、また、広すぎるので管理しきれないと思うことがある。⇒土日・夜間は、地域の要望による生活道路。保護者や地域の協力を得て施錠の徹底に努める。